

施策・事務事業マネジメントシート【令和8年度】

【施策と関連するSDGsの目標（ゴール）】



1 施策の基本情報(Plan)

施策名		29 ごみの減量と適正処理
目的	対象	市民、事業者
	意図	持続可能な社会の形成に向け、3Rを推進する
施策の方向		広報、啓発活動や支援事業の充実により、市民・事業者による3R（リデュース＝ごみの発生抑制、リユース＝再利用、リサイクル＝再資源化）の取組を推進します。また、地球環境に配慮したごみの安定・適正処理に努め、循環型社会、自然共生社会、低炭素社会の3つの要素が連携した持続可能な社会を目指します。

2-1 施策全体の考察①（施策の目的、方向に対する考察）

施策の目的、方向に対する考察（PDCAサイクルにおけるCheck・Action） ・市民・事業者の3R推進によるごみ減量・資源化への高い意識と実践行動の継続に加え、ペーパーレス化の浸透による古紙の減少や中古品取引の拡大など生活様式の変化のほか、社会経済状況の変化に伴う節約志向の継続を背景に、ごみ量は大きく減少し成果目標値を達成している。引き続き、3R推進によるごみ減量、資源化を基本とした、広報啓発及び支援事業、環境学習の充実を図り、幅広い世代への意識啓発により目標達成の継続に取り組む。また、製品プラスチックの資源化や指定収集袋の容量見直しなど、プラスチックごみの発生・排出抑制及び資源化によるCO₂の削減対策や企業と連携した資源循環の取組など環境負荷低減を図る実践的な取組を推進し、市民の環境配慮行動への意識を高める。 ・安定した収集運搬体制の整備による社会インフラ事業の継続を図るとともに、施設周辺と調和したクリーンセンターの安定稼働を図る。また、ふじみ衛生組合及び東京たま広域資源循環組合構成市として、廃棄物中間処理施設、最終処分施設の安定運営と、老朽化に伴う施設更新に取り組み、廃棄物の安定処理の継続と焼却灰の埋め立てゼロを堅持する。

2-2 施策全体の考察②（まちづくり指標の推移／考察）

まちづくり指標	単位	基準値 (基準年度)	実績値 (目標年度)			目標値	指標の推移	考察 (目標達成の要因、課題、目標達成に向けた今後の取組の方向等)
			(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)			
市民1人1日当たりの総ごみ排出量	g	715 令和3年度	674	664	643	693 令和8年度	◎	・1人1日当たりの排出量基準値比▲72g ・生活様式及び社会情勢の変化に伴うごみ量の減少 ・3Rの推進による広報、啓発の継続
最終処分（埋立）量	-	ゼロ 令和3年度	ゼロ	ゼロ	ゼロ	ゼロ 令和8年度	◎	・エコセメント化事業の継続

※ ◎：目標達成 ○：目標値を未達成（前年度より向上した） ▼：目標値を未達成（前年度より低下した） ⇒：目標値を未達成（前年度と同じ又は前年度数値未把握） -：数値未把握（調査未実施など）

3 施策を構成する基本計画事業等の取組実績／今後の方向

■29-1 3 R推進によるごみの減量

No	基本計画事業名	令和7年度取組実績(Check)	令和7年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
94	【重点⑤】 ごみの減量と資源化	☒ 計画どおり ☐ 計画前倒し ☐ 計画遅れ	・廃棄物減量及び再利用促進審議会の運営 ・3 R推進によるごみ減量・資源化の広報・啓発 ・自主的なごみ減量・資源循環の取組支援 ・資源化の推進 ・環境教育の推進 ・プラスチック資源の循環促進 ・脱炭素に向けた取組の推進	☒ 現状継続 ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 財政面改善 ☐ 参加と協働改善	・廃棄物減量及び再利用促進審議会の運営（製品プラスチックの資源化・指定収集袋の見直し諮問・答申） ・ごみ減量・資源化の広報・啓発とごみナビを活用した適正排出の促進 ・生ごみ処理機等補助金交付及び資源物集団回収奨励金交付 ・利再来留（りさいくる）館における粗大再生品リユース事業の推進 ・市内保育園や児童館等への出前講座の拡充やザ・リサイクルジュニアのタブレット配信による環境学習の推進 ・製品プラスチックの資源化に向けた検討 ・指定収集袋のサイズ、料金、色の統一化に向けた検討

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)
①一般廃棄物処理基本計画の推進 ②指定収集袋の仕様見直し ③リユース事業の推進 ④環境学習の充実 ⑤資源循環対策の推進 ⑥調布ごみナビの機能を軸としたDXの推進	①一般廃棄物処理基本計画の重点取組事項に定めた6つの施策の進行管理と成果目標の達成 ②製品プラスチックの資源化の実施に合わせた指定収集袋の仕様見直し ③民間事業者と連携したリユース事業の促進 ④保育園、幼稚園など幅広い世代への出前講座の拡充 ⑤企業と連携した食品ロス対策・製造メーカーと連携したリサイクル事業の促進 ⑥調布ごみナビの利用拡充と機能充実。生成AI機能を活用した新たな機能開発

■29-2 ごみの安定・適正処理

No	基本計画事業名	令和7年度取組実績(Check)	令和7年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
95	ごみの適正排出・ 適正処理の推進	☒ 計画どおり ☐ 計画前倒し ☐ 計画遅れ	・分別排出指導 ・ごみの適正分別 ・不法投棄対策 ・資源持ち去り禁止対策 ・ごみの適正処理 ・ふじみリサイクルセンター施設更新実施設計 ・エコセメント化施設更新実施設計 ・災害廃棄物処理計画の周知・啓発	☒ 現状継続 ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 財政面改善 ☐ 参加と協働改善	・清掃指導員による適正な分別排出指導の継続 ・清掃指導員による重点パトロールによる不法投棄対策 ・資源持ち去り禁止対策の継続 ・資源物のリサイクル拠点となる調布市クリーンセンターの安定稼働 ・ふじみ衛生組合及び三鷹市と連携した、リサイクルセンター更新工事の推進 ・東京たま広域資源循環組合及び構成団体と連携した施設更新工事の推進 ・災害廃棄物処理計画に基づき、災害の種別、規模、被災状況を踏まえた実効性のある具体的な処理方法の検討

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)
①適正な収集運搬事業の継続 ②災害廃棄物処理計画の周知・啓発	①将来の人口減少及びごみの減少を踏まえた、適切な収集運搬事業の体制検討 ②災害時のごみの分別・排出方法の広報啓発・地域訓練への参加 災害の種別、規模、被災状況に応じた処理体制の検討

4 施策の推進、成果向上の視点（４つの視点）を踏まえた令和７年度の実績及び令和８年度の具体的な取組

デジタル技術の活用	共創のまちづくり
・ごみアプリに代わるごみ分別支援ツール「調布ごみナビ」の普及促進【令和７年度・令和８年度】 ・調布ごみナビの生成ＡＩを活用した電話自動応対機能及びごみ組成分析調査機能の開発【令和７年度・令和８年度】 ・災害時のごみの出し方支援機能の開発・導入【令和７年度・令和８年度】	・廃棄物減量及び再利用促進員等と連携した、街の美化活動やごみ減量に向けた取組推進【令和７年度・令和８年度】 ・市内の児童・生徒を対象としたごみ探検隊やごみ減量キャンペーンを通じた３Ｒ推進【令和７年度・令和８年度】 ・製造メーカー、小売事業者等と連携した３Ｒの取組推進【令和７年度・令和８年度】 ・事業者、社会福祉協議会と連携した常設フードドライブの実施【令和７年度・令和８年度】 ・市内事業者と連携した家庭用廃食用油拠点回収の検討・実施【令和７年度・令和８年度】 ・事業者との連携協定に基づく官民共同のリユーススポットの開設・推進【令和７年度・令和８年度】 ・産学官連携による食品ロス削減プログラムの実施【令和７年度・令和８年度】
脱炭素社会の実現	フェーズフリー
・更なる分別の促進【令和７年度・令和８年度】 ・製品プラスチックの分別収集・資源化検討【令和７年度・令和８年度】 ・指定収集袋の見直しやバイオマスプラスチック導入検討【令和７年度・令和８年度】 ・企業（生産者）が取り組むペットボトルの水平リサイクル技術・システム活用に向けた検討【令和７年度・令和８年度】 ・製造メーカーと連携した資源化対策の推進【令和７年度・令和８年度】	・ごみの分別意識の向上を図る意識啓発の継続【令和７年度・令和８年度】 ・安定した収集運搬体制の維持継続【令和７年度・令和８年度】 ・安定したふじみ衛生組合クリーンプラザふじみ及び東京たま広域資源循環組合エコセメント化施設の維持継続【令和７年度・令和８年度】 ・災害時における避難所機能の確保や災害廃棄物処理体制の強化に向け、ふじみ衛生組合リサイクルセンター及び東京たま広域資源循環組合エコセメント化施設の施設更新【令和７年度・令和８年度】